

中路融人 × 気象学

— 心象風景 —

会期 | 令和7年 3月15日(土) ~ 5月25日(日)

会期中の休館日 | 毎週月曜日(ただし5月5日は開館)、3月21日(金)、4月30日(水)、5月7日(水)~5月9日(金)、5月13日(火)

入館料 | 大人300円(250円)、小中学生150円(100円) ※ () 内は20人以上の団体料金

主催 | 東近江市 協力 | 山下晃(大阪教育大学 名誉教授)

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

中路融人 × 気象学 — 心象風景 —

「自然と一体化して写生をしていた」と言われる日本画家の中路融人は、一回の取材で何時間にもわたり風景を観察・写生していました。霧など空気中にただよっている水の質感の表現は高い評価を得ています。

時には微細な氷の結晶や水滴の影響で起こる光環（コロナ）や暈（^{かさ}ハロ）といった光学現象まで捉えており、気象学の点からも非常に興味深い作品があります。

中路の作品に描かれた気象現象は、科学の視点から見ると説明が難しい構図の作品もありますが、それは時間軸が凝縮されていたり、高低差の異なる地



点から見た風景が一体化しているためです。

それらの作品は、中路がありのままをうつす写実性を大切にしながらも、風景から受けた印象を下敷きにし、時にはそこにあるものを描かず、時にはそこにならないものを描き足すという選択がなされています。その根底には、自然に対面した時に自身が感じた感覚を、他者と共有したいという思いがありました。

写生による対話によって自然と心情をかよわせ、自身の心象を絵にしてきた中路。そんな中路の感性と技術とによって表現された「心象風景」をお楽しみください。



表 / 「余呉の月」
裏 / 左上「湖辺（赤い空）」 右上「雪野」 左下「朝靄」 右下「黄昏」（いずれも部分）



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地（てんびんの里文化学習センター内）

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 FAX 0748-48-7105 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日／月曜日（祝日は開館し火曜・水曜休館）・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり
- 入館料／大人300円（250円）小中学生150円（100円）※（ ）内は20名以上の団体料金
- 交通機関／・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分
五箇荘駅から徒歩約25分
・近江鉄道 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分
・名神高速道路

